

第十一条の二の次に次の二条を加える。

(要約書の補正の期間)

第十一條の二 特許法第十七條の三の經濟産業省令で定める期間は、特許出願の日（同法第四十一條第一項、第四十三條第一項、第四十三條の二第二項（同法第四十三條の三第三項において準用する場合を含む。）又は第四十三條の三第一項若しくは第二項の規定による優先權の主張を伴う特許出願にあつては、当該優先權主張の基礎とした出願の日のうち最先の日。以下「優先日」という。）から一年四月（特許出願（同法第百八十四條の四第一項の外国語特許出願を除く。）の願書に添付した要約書を補正する場合にあつては出願公開の請求があつた後の期間を除き、国内書面提出期間内に出願人から出願審査の請求のあつた同法第百八十四條の四第一項の外国語特許出願であつて國際公開がされているものの願書に添付された要約書を補正する場合にあつては出願審査の請求があつた後の期間を除く。）とする。

(優先権主張書面の補正の期間)

当該各号に定める期間とする。

「特許出願（特許法第四十四條第一項、第四十六條第一項若しくは第二項又は第四十六條の二）第一項の規定による特許出願を除く。」について、同法第十七条の四の規定により同法第四十一条第四項に規定する書面又は同法第四十三條第一項（同法第四十三條の三第二項（同法第四十三條の三第三項において準用する場合を含む。）及び同法第四十三條の三第三項において準用する場合を含む。）及び同法第四十三條の三第三項において準用する場合（以下これらの書面を「優先権主張書面」という。）について補正をする場合、優先日（優先権主張書面について補正をすることにより優先日について変更が生じる場合には、変更前の優先日又は変更後の優先日のいずれか早い日。次号において同じ。）から一年四月の期間が満了する日又はこれらの規定による優先権の主張を伴う特許出願の日から四月の期間が満了する日のいずれか遅い日までの間（出願審査の請求又は出願公開の請求があつた後の期間を除く。）

二 特許法第四十四条第一項、第四十六條第一項若しくは第二項又は第四十六條の第二項の規定による特許出願について、同法第十七条の四の規定により優先権主張書面について補正をする場合、優先日から一年四月、同法第四十四条第一項の規定による新たな特許出願に係るものとの特許出願の日、同法第四十六條の第二項若しくは第二項の規定による出願の変更に係るものと出願の日若しくは同法第四十六條の第二項の規定による特許出願の基礎とした実用新案登録に係る実用新案登録出願の日から四月又は同法第四十四条第一項、第四十六條第一項若しくは第二項又は第四十六條の第二項の規定による特許出願をした日から一月の期間が満了する日のいづれか遅い日までの間（出願審査の請求又は出願公開の請求があつた後の期間を除く。）第十一条の四中「様式第六十一の二」を「様式第六十一の六」に改める。

第十三条第三項中「対し」の下に「特許異議の申立て又は」を加え、「再審又は」を「再審若しくは」に改め、後その」の下に「申立て又は」を加え、「審判の番号、再審の番号」を「特許異議、審判、再審」に改める。

第十三条の第三項第五号中「同法」の下に「第百二十条の五第九項又は」を、「含む。」の下に「同法第百二十条の五第二項ただし書」を加える。

第十四条第二項中「第七十一条第三項」の下に「、第二百十条の八第一項（同法第一百七十四条第一項において準用する場合を含む。）」を加え、「第一項から第三項」を「第二項から第四項」に改める。

第十六条第二項中「第百三十三条第三項（同法第七十一条第三項）の下に「第百二十条の五第九項（同法第百七十四条第一項において準用する場合を含む。）及び同法第百二十条の八第一項（同法第百七十四条第一項において準用する場合を含む。）を加え、第一項から第三項」を「第二項から第四項」に改め、「第百三十三条の第二項（同法第七十一条第三項）の下に「第百二十条の八第一項（同法第百七十四条第一項において準用する場合を含む。）」を加える。」を加える。

第十八条第四項中「第四十三條の二第二項」を「第四十三條の三第二項」に改める。

第二十七条の三第一項第三号中「第百七十四条第一項」を「第百七十四条第二項」に改める。

第二十七条の三の第三項中「第四十三條の二第二項（同法第四十三條の三第三項において準用する場合を含む。）及び第四十三條の三第三項」に改め、同条第二項中「第四十三條の二第三項」を、「第四十三條の二第二項（同法第四十三條の三第三項において準用する場合を含む。）及び第四十三條の三第三項」に改め、同項第一号中「同条第二項」の下に「〔同法第四十三條の二第二項において準用する場合を含む。〕」を加え、同項第四号中「第四十三條第一項」の下に「、第四十三條の二第二項又は第四十

[illegible]

第二十七条の四第一項中「又は同法第四十一条第四項若しくは同法第四十三条第一項（同法第四十三条の二第三項において準用する場合を含む。以下この条において同じ。）の規定により優先権を主張しようとする者」及び「又は同法第四十一条第四項若しくは同法第四十三条第一項に規定する書面」を削り、同条第三項中「第四十三条の二第三項」を「第四十三条の二第二項（同法第四十三条の三第三項において準用する場合を含む。）及び第四十三条の三第三項」に改め、同項に後段として次のように加える。

その者が、優先権主張書面に当該事項を記載したときも同様とする

第二十七條の四第三項を同条第五項とし、同条第二項中「第四十三條の二第三項」を「第四十三條の二第二項（同法第四十三條の三第三項において準用する場合を含む。）及び第四十三條の三第三項（同法第四十三條の二第二項において準用する場合を含む。）又は第四十三條の三第一項若しくは第二項に改め、特許第四十三條の二第三項において準用する場合を含む。」とし、同条第一項の次に次の二項を加える。

2 優先権主張書面は、様式第三十六の二により作成しなければならない。

3 特許出願について特許法第四十一条第一項、第四十三條第一項、第四十三條の二第二項（同法第四十三條の三第三項において準用する場合を含む。）、又は第四十三條の三第一項若しくは第二項の規定により優先権を主張しようとする者は、当該特許出願の願書にその旨及び必要な事項を記載して優先権主張書面の提出を省略することができる。